

土木技術職員スキルアッププラン

1. 基本事項

- ①策定目的：土木技術職員として必要な技術的能力の習得を、新規採用時から計画的に実施することにより、土木技術職員の早期戦力化を推進し、公共工事の品質向上、業務効率化、県民サービスの向上を図る。
- ②対象職員：主に土木部出先機関に所属する、新規採用～3年目程度の若手土木技術職員

2. 土木技術職員の現状と課題

- ①県の土木技術職員は、320人（令和6年4月1日時点）でピーク時(H9)454人の約7割となっており、その年齢構成も平均的ではなく、20歳から40歳までの職員が少なく、50歳代前半の職員が多い状況であり、若手土木技術職員への直接的な指導機会が少なくなっている状況である。
⇒**技術力の継承が危ぶまれる**
- ②土木技術職員の業務は公共土木施設を建設するだけでなく、老朽化対策も含めた維持管理業務の重要性も増しており、人員削減による一人当たりの事務量の増加に伴い、現場に行く機会と時間が減少している状況にある。
⇒**土木技術職員としての技術力、現場対応力の低下が懸念される**
- ③土木技術職員は、工事にに関する業務だけでなく、事業説明、用地交渉での地元住民への説明や、異常気象時の対応など多様な業務を担当しており、これらの業務に関する知識も必要である。さらに、国の新しい施策や県の重点施策に関しても常に情報収集しておく必要がある。
⇒**目的や相手に応じた説明力、専門的な知識の習得、関連する知識の習得が必要**

3. 取組方針

- ①求められるスキルの見える化
土木技術職員として求められるスキルを、経験年数や分野ごとに、必要性和その方法について具体的に示す「スキルマップ」を作成して明確化する。[別添1](#)
- ②初任土木技術職員の育成強化
新規採用の土木技術職員が、正規の監督員となる10月までの半年間で、習得すべき最低限の基礎知識と実務能力を養成するための研修計画を策定する。研修計画は、(公財)香川県建設技術センターによる基礎的研修と技術企画課による実務的研修を組み合わせた計画とする。[別添2](#)
- ③OJTによる実践的な能力の習得
土木技術職員のノウハウを含んだリーフレット、初任土木技術職員の人材育成マニュアルを作成し、職場におけるOJTに活用する。
- ④技術継承しやすい職場環境の整備
職場におけるコミュニケーションが良好に行われ、初任土木技術職員への指導・助言がしやすく、また初任土木技術職員が相談しやすい職場づくりに取り組む。

4. スキルアッププランの推進体制と効果検証

- ①技術企画課においてスキルアッププランの推進と進捗管理を実施する。
- ②「香川県 初任土木技術職員 人材育成マニュアル」によるスキルアッププランの効果検証等を行い、場合により、土木部次長、出先機関の防災・監督主幹、本庁の課長補佐等、関係者の意見を聞き、継続的な制度改善を実施する。

■ 土木技術職員のスキルマップ 《①総論、政策、入札・契約、危機管理、基礎技術力》

【出先事務所技術職員編】※本庁技術職員はOJTによるスキル習得を基本とする

◎:習得必須スキル ○:習得期間 (◎):選択制必須スキル

■:習得済又は習得不要 【令和7年3月末版】

区分	基本分類	小分類	No.	習得項目名	対象者						習得方法				◆研修開催時期											
					新採 (半年間)	若手技師 (～3年)	技師・ 主任技師 (～10年)	主任	副主任	課長 (GL)	研修			OJT	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
											県職員	県技 センター	★外部 研修													
一般	総論		1	土木技術職員としてのコンプライアンス	◎(基礎)	◎	◎	◎	◎	◎	①	⑭	△	○	①						⑭					
			2	香川県の土木行政(総論)	◎(基礎)	◎	◎	◎	◎	◎	①				①											
			3	公共事業の流れと受発注者の役割	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎	⑤	③		○			③		⑤							
	政策・ 事業計画等		4	政策策定能力				○		◎				○												
			5	個別政策の理解(国・県の上位計画)				○		◎				○												
			6	事業ニーズの把握				○		◎				○												
			7	個別事業計画策定能力			○		◎	◎				○												
			8	個別事業目的・計画の把握		○	◎	◎	◎	◎				○												
	入札・契約		9	入札・契約制度の理解(建設業法・指名基準等)				○		◎	⑧			○											⑧	
	危機管理等	防災	10	水防関係事務の理解	○	◎	◎	◎	◎	◎	(事)		○	○	※実施時期は事務所により異なる											
			11	雪氷対策の理解		○	◎	◎	◎	◎	(事)			○	※実施時期は事務所により異なる											
			12	地震発生時対応の理解	○	◎	◎	◎	◎	◎	(事)			○	※実施時期は事務所により異なる											
		災害対応	13	災害復旧事業制度の理解	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎	②	④	△	○			④	②								
			14	災害被害調査方法の理解	◎(基礎)		○	◎	◎	◎	②	④	△	○			④	②								
			15	災害査定設計書作成能力	◎(基礎)		○	◎	◎	◎	②	④	△	○			④	②								
			16	災害査定対応能力				○		◎		④	△	○			④									
	基礎技術力		17	測量に関する基礎的な知識や操作技術(レベル操作)	◎(基礎)	◎	◎	◎	◎	◎	②			○			②									
			18	地質調査・土質試験とその活用方法	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎		⑥		○			⑥									
			19	コンクリートの製造、施工方法の基本的事項	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎		⑤		○			⑤									
			20	コンクリート構造物の診断・補修施工方法の基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎		⑤		○			⑤									
			21	擁壁工の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎		⑦		○			⑦									
			22	基礎の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎				○												
			23	ボックスカルバートの設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎				○												
			24	U型水路の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎				○												
			25	法面の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎				○												
			26	舗装の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力		○	◎	◎	◎	◎		⑫		○							⑫					
			27	地盤改良・置換工の設計・施工に関する基礎的な知識、実務能力			○	◎	◎	◎				○												

★外部研修 □国土交通大学校研修 ○(財)全国建設研修センター研修

◇国土技術政策総合研究所 △四国地方整備局研修他

◆研修開催時期 ○内の数字は別紙「研修計画表」のNo.を表す

■ 土木技術職員のスキルマップ 《②事業管理、調査・設計、用地補償》

【出先事務所技術職員編】 ※本庁技術職員はOJTによるスキル習得を基本とする

◎:習得必須スキル ○:習得期間 (◎):選択制必須スキル

■:習得済又は習得不要 【令和7年3月末版】

区分	基本分類	小分類	No.	習得項目名	対象者						習得方法				◆研修開催時期											
					新採 (半年間)	若手技師 (～3年)	技師・ 主任技師 (～10年)	主任	副主幹	課長 (GL)	研修			OJT	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
											県職員	県技 センター	★外部 研修													
一般	事業管理	全体計画	28	個別事業の全体事業費・残事業費把握		○		◎	◎	◎				○												
		年次計画	29	個別事業の年次計画策定・把握(スタミナ管理)			○		◎	◎				○												
		進捗管理	30	設計・用地買収・工事の進捗状況把握及び課題解決の具体的提案能力			○		◎	◎				○												
		発注管理	31	予算時期(当初・補正)と次工程(測量→設計→用地→工事)を意識した発注・工期設定の計画・管理			○		◎	◎				○												
	調査・設計	事前準備	32	既存資料・現地条件情報収集能力<地形地質、技術基準、施工工法、法規制等>		○		◎	◎	◎				○												
			33	必要業務内容(項目・範囲・条件)・必要関係手続の把握能力		○		◎	◎	◎				○												
			34	地元・関係機関調整能力			○		◎	◎				○												
		積算 (委託)	35	業務関係共通仕様書の理解	◎(基礎)	○		◎	◎			③		○			③									
			36	積算基準書、積算の手引きの理解	◎(基礎)	○		◎	◎			④⑦	②	○			②			④	⑦					
			37	設計書作成能力(積算システム操作・現場条件表作成)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎			④⑦	②	○			②			④	⑦					
			38	発注図面作成能力(CAD操作)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎				①	○			①									
		監督業務 (委託)	39	業務計画書の作業内容確認能力		○		◎	◎	◎		⑧		○				⑧								
			40	地質調査、設計:各専門分野の技術基準等の知識(専門区分参照)		(○)		(◎)	(◎)	(◎)		【基礎技術力・専門技術参照】														
			41	条件変更対応能力<必要性判断、業務内容・金額変更等の影響範囲把握>		○			◎	◎				○												
			42	成果品の照査能力		○		◎	◎	◎				○												
			43	業務成績評定能力		○	◎	◎	◎	◎	⑥			○					⑥							
		検査	44	委託業務検査能力					○	◎				○												
		用地・補償		45	用地買収の基礎知識	○	○	◎	◎	◎	◎	⑤	⑨		○				⑨	⑤						
				46	物件補償等の基礎知識	○	○	◎	◎	◎	◎	⑤	⑨		○				⑨	⑤						

★外部研修 □国土交通大学校研修 ○(財)全国建設研修センター研修

◇国土技術政策総合研究所 △四国地方整備局研修他

◆研修開催時期 ○内の数字は別紙「研修計画表」のNo.を表す

■ 土木技術職員のスキルマップ 《③工事監督業務、日常管理》

【出先事務所技術職員編】 ※本庁技術職員はOJTによるスキル習得を基本とする

◎:習得必須スキル ○:習得期間 (◎):選択制必須スキル

■:習得済又は習得不要 【令和7年3月末版】

区分	基本分類	小分類	No.	習得項目名	対象者						習得方法				◆研修開催時期											
					新採 (半年間)	若手技師 (～3年)	技師・主任技師 (～10年)	主任	副主幹	課長 (GL)	研修			OJT	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
											県職員	県技センター	★外部研修													
一般	工事	事前準備	47	現地条件情報収集能力		○		◎	◎	◎		⑬		○					⑬							
			48	発注工事範囲(本・仮設)・工事手順・必要関係手続の把握能力		○		◎	◎	◎		⑬		○						⑬						
			49	地元・関係機関(警察、電力、NTT、水道等)調整能力			○		◎	◎				○												
		積算(工事)	50	工事関係共通仕様書の理解	◎(基礎)	○		◎	◎			③⑬		○			③			⑬						
			51	積算基準書、積算の手引きの理解力	◎(基礎)	○		◎	◎		④⑦	②⑬		○		②				④⑬⑦						
			52	設計書作成能力(積算システム操作)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎			②⑬		○		②				⑬						
			53	発注図面作成能力(CAD操作)	◎(基礎)	○	◎	◎	◎		②	①		○		①	②									
			54	数量計算書の作成、チェック方法に関する能力	◎(基礎)	○	◎	◎	◎		④⑦	②⑬		○		②				④⑬⑦						
		監督業務(工事)	55	工事関係共通仕様書の理解(受発注者責任分担、契約事項)	◎(基礎)	○		◎	◎	◎		③		○			③									
			56	監督員の役割の理解(監督技術基準)	○	◎	◎	◎	◎	◎		③		○			③									
			57	施工関係基準の理解(仕様書、施工管理基準等)	◎(基礎)	○		◎	◎	◎		③		○			③									
			58	施工管理実務の理解(施工計画書、材料承諾、材料確認、段階確認等)	◎(基礎)	○		◎	◎	◎		③		○			③									
			59	受注者に対する打合せ、指示、監督等の説明力・表現力		○		◎	◎	◎				○												
			60	関係機関との調整力(警察、電力、NTT、水道、労基等)			○		◎	◎				○												
			61	地元関係者との折衝・調整能力(住民、地権者、水利組合等)			○		◎	◎				○												
			62	現場条件及び設計変更対応能力<必要性・技術的判断、金額等影響範囲把握>	◎(基礎)	○		◎	◎	◎	⑤	⑦		○			⑦			⑤						
			63	安全管理(労働安全衛生法)に関する知識、現場内事故対応	◎(基礎)	○		◎	◎	◎	⑥	⑧		○				⑧	⑥							
			64	工事監察に関する知識、チェックポイントの把握	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎	⑥	⑧		○				⑧	⑥							
			65	検査(中間、部分竣工、竣工)に関する知識	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎	⑥	⑧	△(臨場)	○				⑧	⑥							
			66	工事成績評定の手続き、評価方法の理解	◎(基礎)	○	◎	◎	◎	◎	⑥	⑧		○				⑧	⑥							
		検査	67	工事検査能力					○	◎				○												
	日常管理		68	施設管理事務の理解(法令・施設台帳)	◎(基礎)	○		◎	◎	◎	⑤			○					⑤							
			69	占用・使用許可制度の理解		○		◎	◎	◎	⑤			○						⑤						
			70	日常点検・維持修繕工事の対応力		○		◎	◎	◎		⑩		○						⑩						
			71	道路構造令・河川管理施設等構造令等の理解		○		◎	◎	◎				○												
			72	土木統合台帳の使用	◎(基礎)	○		◎	◎	◎	②			○				②								

★外部研修 □国土交通大学校研修 ○(財)全国建設研修センター研修

◇国土技術政策総合研究所 △四国地方整備局研修他

◆研修開催時期 ○内の数字は別紙「研修計画表」のNo.を表す

■ 土木技術職員のスキルマップ 《④専門技術》

【出先事務所技術職員編】※本庁技術職員はOJTによるスキル習得を基本とする

◎:習得必須スキル ○:習得期間 (◎):選択制必須スキル

■:習得済又は習得不要 【令和7年3月末版】

区分	基本分類	小分類	習得項目名	対象者						習得方法				研修開催時期											
				新採 (半年間)	若手技師 (～3年)	技師・主任技師 (～10年)	主任	副主幹	課長 (GL)	研修			OJT	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
										県職員	県技 センター	★外部 研修													
専門 技術	計画・設計 技術	道路	道路計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪	□	○						⑪						
			交差点設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪		○						⑪						
			補強土壁工法設計・施工		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪		○						⑪						
			トンネル設計・施工		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪	○	○						⑪						
			長寿命化(計画、点検・評価、設計、施工)＜トンネル、標識、シェッド、大型ボックス＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪	□	○						⑪						
		橋梁	橋梁設計・施工		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑫	□	○							⑫					
			耐震対策(設計・施工)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑫		○							⑫					
			長寿命化(計画)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑩/⑫		○						⑩/⑫						
			長寿命化(点検・評価)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑩/⑫	□	○						⑩/⑫						
			長寿命化(補修設計、施工)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑩/⑫	□	○						⑩/⑫						
		河川	河川計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪	□	○						⑪						
			河川構造物設計(堰・水門)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			□	○												
			耐震対策(診断・設計・施工)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪		○						⑪						
			長寿命化(計画、点検・評価、補修設計、施工)＜河川管理施設＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪	□	○						⑪						
		ダム	ダム計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
			長寿命化(計画、点検・評価、設計、施工)＜ダム管理施設＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		⑪		○						⑪						
		土砂災害	砂防ダム計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
			急傾斜地対策計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
			地すべり対策計画・設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
		港湾	港湾計画・施設設計		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			◇	○												
			耐震対策(診断・設計・施工)		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			◇	○												
			長寿命化(計画、点検・評価、設計、施工)＜港湾施設＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
		都市計画	都市政策		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			△	○												
			街路・公園事業計画		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			△	○												
			長寿命化(計画、点検・評価、設計、施工)＜都市公園＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)				○												
		下水道	下水道計画		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			△	○												
			長寿命化(計画、点検・評価、設計、施工)＜下水道施設＞		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			△	○												
	長寿命化対策	共通	香川県公共土木施設アセットマネジメント基本方針		(◎)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		5		○						5						
	インフラDX	共通	ICT活用(施工)	(○)	(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)		3/5	⑬	○△	○					3/5			⑬			
			新技術の活用(最新の研究開発・導入事例)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			⑬	△	○								⑬			
	地震津波対策	河川・港湾	香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画		(○)	(◎)	(◎)	(◎)	(◎)			⑪		○					⑪						

★外部研修 □国土交通大学校研修 ○(財)全国建設研修センター研修

◇国土技術政策総合研究所 △四国地方整備局研修他

◆研修開催時期 ○内の数字は別紙「研修計画表」のNoを表す

スキルマップ研修計画表

■建設技術センターによる研修（県職員・市町職員）《基本的知識》

No.	研修区分	研修名	対象者	実施月 (予定)	備考
①	一般基礎	C A D 研修（入門編）	新採職員 希望者	5月	
②	一般基礎	初任技術者のための積算業務	新採職員 希望者	5月	
③	一般基礎	初任技術者のための監督業務①	新採職員 希望者	6月	
④	専門実務	災害復旧実務	希望者	6月	
⑤	専門基礎	コンクリートの基礎知識	新採職員 希望者	6月	
⑥	専門基礎	地質調査の基礎知識	新採職員 希望者	7月	
⑦	専門基礎	構造物設計の基礎知識	新採職員 希望者	7月	
⑧	一般基礎	初任技術者のための監督業務②	新採職員 希望者	8月	
⑨	専門実務	公共事業に必要な用地・補償の制度と実務	希望者	8月	
⑩	専門実務	橋梁点検・補修	希望者	9月	
⑪	専門技術	河川計画と設計	希望者	9月 (隔年)	(令和8年度)
	専門技術	道路計画と設計			令和7年度
⑫	専門技術	橋梁設計	希望者	10月 (隔年)	(令和8年度)
	専門技術	アスファルト舗装に関する技術、維持修繕及び品質管理			令和7年度
⑬	専門実務	仮設工の積算	希望者	10月	
⑭	専門技術	入札談合の防止に向けて	希望者	10月	
⑮	専門技術	現場見学会（現場未定）	新採職員 希望者	11月	
⑯	専門技術	建設D Xの基礎知識（ICT・BIM／CIM）	新採職員 希望者	12月	
⑰	一般実務	役職定年者等に対するリスクリングのための研修（積算・CAD）	希望者	3月	

スキルマップ研修計画表

■技術企画課による研修（県職員のみ）《実務研修》

No.	研修 期間	研修名	対象者	実施月 (予定)	備考
①	1日	「香川県の土木行政について及びトレーナー研修」 ○香川県の土木行政について(新採職員) ○スキルアッププランについて(新採職員) ○土木技術職員としてのコンプライアンスについて(新採職員) ○新採技術職員に実務経験で伝えるべき基本事項の確認等(トレーナー) ○香川県 初任土木技術職員 人材育成マニュアルの説明(トレーナー) ○新採技術職員説明用のリーフレットを配布・説明(トレーナー)	新採職員 トレーナー	4月	技術企画課
②	1日	「初任土木技術職員のための監督実務①（災害研修含む）」 ○土木統合台帳の使用について ○災害実務研修による現地調査・設計実務礎研修 （災害の基礎知識、災害現地調査実習、ポール横断測量、レベルを用いた 測量実習、段階確認時の施工管理実習） ○設計実務研修(CADによる図面作成、設計条件検討、ブロック積設計実習)	新採職員 若手職員	7月	技術企画課 河川砂防課
③	半日	「技術者のための3次元データ研修」 ○3次元データの基礎知識 ○CIM活用業務について ○3DCADの基本操作(実技研修)	若手職員 ～副主幹等	8月	技術企画課
④	(アンケートシ ステム形 式)	「技術者のための積算業務（設計書チェックのポイント）」 ○設計書作成時の間違いやすい内容を含む演習用設計書のミス発見 ○各要領等の内容を確認 など	若手職員 ～主任等	9月	技術企画課
⑤	1日	「初任土木技術職員のための監督実務②」 ○香川県の公共土木施設のアセットマネジメントについて ○ICT施工の基礎知識 ○土木技術職員が使用する各種システムの基礎知識 （建設工事管理システム、情報共有システム等） ○各種システムの基本操作(実技研修) ○管理・用地業務の基礎知識(境界立会、丈量図、台帳整備、承認工事等) ○考査テスト	新採職員	9月	技術企画課
⑥	1日	「初任技術者のための検査・監察・成績評定実務」 ○新採職員が10月から正規監督員として検査・監察・成績評定を行う前に最低限 習得すべき実務的な基礎知識に関する研修 ○竣工時の書類確認、検査、成績評定の実演など ○土木技術職員が使用する各種システムの基礎知識(電子納品保管管理システム) ○半年間を振り返って(半年間の実感、今後の抱負、スキルマップ習得状況等)	新採職員	9月	技術企画課 工事検査室
⑦	(アンケートシ ステム形 式)	設計書チェックのポイント（演習編） ○設計書作成時の間違いやすい内容を含む演習用設計書のミス発見 ○各要領等の内容を確認 など	若手職員 ～副主幹等	11月	技術企画課
⑧	半日	「新任出先課長のための監督業務」 ○入札・契約制度について ○総合評価について ○品確法の改正経緯について など	新任GL	3月	技術企画課 土木監理課

初任土木技術職員 年間研修計画表【令和7年度版】

R7.3月末時点

時期	期間	種別	研修名称	研修内容	研修目的
➤ トレーナーと半年間の監督業務に関する実務経験開始（工事発注、施工管理、地元対応等）					
4月	上	7日間 一般	初任者（前期）研修	県職員としての意識と使命感の確立を図り、地方公務員にふさわしい規律・マナーを身につけるとともに、職務で求められる基礎的知識・能力を習得する。また、県が独自に運用しているシステムについて、実際にパソコンを操作しながら職務遂行に必要な知識・技術を習得する	○県職員としての意識、規律・マナー ○県の会計、行政情報ネットワーク等
	中	半日間 技術（技企）	①香川県の土木行政について	香川県の土木技術職員として知っておくべき香川県の土木行政と今後の研修計画に関する研修を行うことで、県の土木技術職員としての自覚や自己研鑽の必要性の習得を図る	○技術職としての意識向上、スキルアップのイメージ
	下	半日間 技術（技企）	トレーナー研修【新規採用職員対象外】	初任土木技術職員に実務経験を積ませるうえでトレーナーとして指導すべき基本事項の研修を行うことで、効率的なOJTによる初任土木技術者の知識・能力の向上を図る	○効率的なOJT
5月	上	2日間 一般	初任者（中期Ⅰ）研修	県の財政や各部の主要事業及び県税のしくみについて学ぶ	○主要事業 ○県の財政・予算、県税
	中	1日間 技術（建技）	①CAD研修（入門編）	CADの基本操作、発注図面作成までの実演等、CADの基礎的知識・能力の習得を図る	○CADの基本操作
	中	1日間 技術（建技）	②初任技術者のための積算業務	初任技術者が積算するために必要となる基礎的知識・能力の習得を実演等で図る	○積算基礎知識
	下	1日間 一般	初任者（中期Ⅱ）研修【全体研修】	地域課題の観察力を高めるため、瀬戸内国際芸術祭の現地や栗林公園を訪問して地域活性化について考える	○地域資源を知る
6月	上	1日間 一般	初任者（中期Ⅱ）研修【現場体験型研修】	地域課題の観察力を高めるため、瀬戸内国際芸術祭の現地や栗林公園を訪問して地域活性化について考える	○地域資源を知る
	中	1日間 技術（建技）	③初任技術者のための監督業務①	土木工事のながれ、工事監督員としての心構え等、基礎知識の習得を図る	○監督業務基礎知識
	下	1日間 技術（建技）	⑤コンクリートの基礎知識	生コンの品質管理、コンクリート構造物の補修技術等、工事監督員として最低限習得すべき基礎的知識を品質試験等の実技試験等による研修で習得を図る	○コンクリートの基礎知識
7月	上	1日間 技術（技企）	②初任土木技術職員のための監督実務①	・初任土木技術職員が最低限習得すべき災害の知識と現地調査、測量等の実技の習得 ・設計実務（ブロック積護岸の図面作成、現場条件に基づく設計条件の検討、設計等）	○災害調査、測量、CAD、設計の実務
	中	1日間 技術（建技）	⑥地質調査・土質試験の基礎知識	地質調査、土質試験に関して監督員（調査職員）として最低限習得すべき基礎的知識と、土質試験の実技による土質の判定知識等の習得を図る	○地質調査と土質試験の基礎知識
	下	1日間 技術（建技）	⑦構造物設計の基礎知識	監督員として最低限習得すべき、擁壁の安定計算、ブロック積の設計など、構造物設計の基礎的な知識について、演習を含めた研修により習得を図る	○基本構造物の安定計算等の基礎知識
8月	上				
	下	1日間 技術（建技）	⑧初任技術者のための監督業務②	委託業務における調査職員業務、監督員のコンクリート施工管理のほか、工事の検査、監察、工事成績、関係法令に関する基礎的知識に関する研修	○工事の安全管理・検査・監察・工事成績の基礎知識
9月	上	1日間 技術（技企）	⑤初任土木技術職員のための監督実務②	・公共土木施設のアセットマネジメント、ICT施工について理解を深める ・初任土木技術職員が10月からの正規の監督員配置前に最低限習得すべき基礎的知識について、実務的な研修により習得を図る（システム操作実習、用地・管理業務等） ・基礎的知識・能力の審査テスト	○システム実習 ○基礎知識の再確認
	中	1日間 技術（技企）	⑥初任土木技術職員のための検査・監察・成績評価実務	・初任土木技術職員が正規工事監督員として実施する検査・監察・成績評価について、最低限習得すべき内容を実務的な研修で習得する（システム操作実習、模擬検査等実技研修を中心とする） ・半年間を振り返っての実感、今後の抱負、スキルマップによる習得状況の確認	○検査・監察・工事成績の実務 ○システム演習 ○模擬検査 ○研修成果の確認
10月	上	1日間 一般	初任者（後期）研修【現場体験型研修】	県職員として、非常事態に備えた危機管理対応力を身につけるとともに、職場における実務体験を踏まえて、初任者研修のフォローアップを図る。	○消防学校体験学習 ○「讃岐うどん」の継承
	下	1日間 一般	初任者（後期）研修【全体研修】	県職員として、非常事態に備えた危機管理対応力を身につけるとともに、職場における実務体験を踏まえて、初任者研修のフォローアップを図る。	○公文書作成ワーク ○仕事のスキルアップ ○副知事講話
11月	上				
11月	中				
11月	下				
12月	上				
12月	中				
12月	下				
1月	上				
1月	中				
1月	下				
2月	上				
2月	中				
2月	下				
3月	上				
3月	中				
3月	下				

➤ 10月1日より、正規の監督員として現場管理等の監督業務開始

凡例

… 人事・行革課が実施する階層別一般研修（新採職員必須）

… （公財）香川県建設技術センターが開催する基礎的知識の習得を目的とした研修（県初任土木技術職員、市町職員対象）

… 技術企画課が開催する実務的知識、能力の習得を目的とした研修（県の初任土木技術職員必須、②は3日目までの若手職員も対象）